

サギソウの育て方

サギソウは、純白の花がシラサギの舞う姿に似ている日本特産のラン科植物で、栽培しやすい植物です。小豆～大豆粒大の球根をもち、3月中旬ごろに芽を出し、7～8月に花を咲かせます。

当園のシンボルマークにデザインされています。

植え方（植え替え）

鉢 浅い鉢

用土 水ゴケ、粗い砂利

時期 毎年2月下旬～3月上旬

方法 鉢底に粗い砂利を $\frac{1}{2}$ ほど入れ、水ゴケを2～3cm敷いて球根を植え付けます。

芽を上にし、2～3cm間隔に並べ、上からまた水ゴケを1cmほどかぶせます。球根は、植え付け前にダイセンやベンレートなどの殺菌剤（1,000倍液）に約半日浸し、腐敗を防ぎます。

置き場

日当たりと風通しのよいところに置きます。花後は30%前後の遮光をします。

水やり

水ゴケが常に湿っているように水やりし、乾かさないようにします。受皿をして腰水栽培する場合は、水温が上がりすぎないようにします。

肥料

芽が伸びだしたころから、開花までは、液体肥料を10日に1回の割合で与えます。花後は、油カスと骨粉を等量混合したものを9月まで月1回、5号鉢で茶さじ2杯を与えます。

病害虫

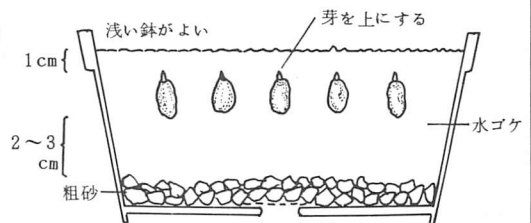
生育期間中、1～半月に1回ダイセン水和剤（800倍）やベンレート水和剤（1,000倍）を散布します。花が咲くころによくアブラムシが発生しますので、スミチオン乳剤（1,000倍）で防除します。

冬越し

地上部が枯れた鉢は、翌年の植え替えまで、乾かさないう、また凍らせないように管理します。ふつう、1球から3～4球に殖えます。



サギソウ



サギソウ球根の植え方

